

思考の可視化 思考ツール

教科書が、小学校は令和6年度（昨年度）から変わり、中学校は令和7年度（今年度）から変わりました。国語科においては、小中学校とも光村図書が継続採択となっています。

中学校においてはこれまでの教科書でも、新しい教科書でも「思考の地図」という名前で「思考ツール」のページが3学年とも冒頭に載っています。新しい教科書になったからといって、大きな変化はありません。それだけ思考を整理するための有効な手段が旧教科書から載っていたということです。学年により、紹介されているツールは少し変わっていきませんが、「思考を広げる」、「思考を整理する」、「思考を深める」という3観点で紹介されています。

小学校では、今回の教科書から「思考ツール」が、「図を使って考えよう」という名前で2～6学年の付録として巻末に付けられています。観点は、中学校のように3観点全学年共通ではなく、学年の推移に合わせて、「じゅんじょ」、「同じところ、ちがうところ」、「分ける」、「比べる」、「広げる」、「位置づける（評価する）」、「つなげる（構造的に）」となっています。下記参照。詳細は2～6学年の教科書を並べてみてください。

現行学習指導要領（平成29年告示）には、【知識及び技能】（2）に「情報の扱い方に関する事項」が新設されました。内容そのものは、従来の国語科各領域の指導事項に重なるものがほとんどですが、ますます加速化する情報社会への対応を意識した重要な改定内容であると考えます。もちろん、次回の改定でも重視されていくでしょう。

今回は、国語科の教科書に載っている「思考ツール」の話でしたが、「思考ツール」は、全教科・領域等で活用できます。どのような情報をどのように整理させたいのか、その時どのような「思考ツール」を使うと有効なのか、じっくり考えてみる時期ではないでしょうか。

また、子どもたちに「思考ツール」を活用させるなら、まずは何の題材でもいいので、教師自身が「思考ツール」を体験し、実感することから始めることをお勧めします。

情報の扱い方

	5月	6月	付録
	つながりをとらえよう	集めるときに使おう	図を使って考えよう
2年	じゅんじょ	メモをとるとき	じゅんじょ 同じところ、ちがうところ
	関係をとらえよう	集めて整理して伝えよう	図を使って考えよう
3年	全体と中心	引用するとき	分ける、くらべる、広げる
4年	考えと例	要約するとき	分ける、くらべる、広げる
5年	原因と結果	目的に応じて引用するとき	位置づける、分ける、くらべる、広げる
6年	主張と事例	情報と情報をつなげて伝えるとき	つなげる、分ける、くらべる、広げる、位置づける

1学期教材として、早めに出会うことで、その後の学びに生かせるというメリットがあります。

気をつけたいこと

評価において、ともすると、きれいに見栄えよくまとまったものを教師は高評価しがちです。でも、子どもの思考が見えるノートやワークシートは、……。書き足しがあったり、訂正箇所が残っていたり、関連するところは線で結んであったり、比較箇所は矢印が使用されていたりと多様な表現がされています。表や図は一つの作品として見るのではなく、子ども一人ひとりの思考の足跡、軌跡として評価していきましょう。そうした中で、例えば、表作成では、項目づくりの段階でしっかりした聞き取りをするなど、細やかな指導が必要です。また、子どもは自分で書いたものでも、矢印の意味が不明になったり、途中でその意味が変わってしまったりします。使い方や色の使い分けなどにルールを決めておくのも思考整理とその評価につながります。それを見る友だちも意味が分かりやすく、相互評価にも生かせます。

まなび野洲チャレンジ! 26

今回はこの問題です。正しい答えの番号はどれでしょう。答えは、最下段に載せています。

滋賀県で本藍染めをしているのが、野洲市小篠原にある藍染屋「紺九」さんです。藍色を出すのに、化学染料を一切使わず、昔ながらのやり方を受け継いで糸や布、紙を染めています。

1870（明治3年）の創業から現在の4代目まで、一途に守りぬいてきた伝統的な技術は高く評価され、1996年に国の選定保存技術保持者の認定を受けられたほどです。

その伝統の技術が、京都桂離宮の文化財修復やふすま絵、壁紙の染めに使われてきました。

近所で栽培され、乾燥させた藍の葉に水をかけ、かめの中に入れ、発酵させます。かめの中の茶色の液に浸して取り出すと、一瞬で茶色から緑、そして藍色へと変色していきます。

この古来の鮮やかな天然色である藍色は海外でどう呼ばれているのでしょうか？



- ①オーミブルー ②キングオブブルー ③オリエントブルー ④ジャパンプルー



小学校高学年・中学生におすすめの図書

『青空のむこう』

アレックス・シアラー 著 出版社 求龍堂

64万部を超えるベストセラーを手軽に楽しめる小説。中学生・高校生におすすめの児童文学です。

事故で死んでしまった少年・ハリーは、“やり残したことがある”と言って地上に降り立ちます。ハリーがやり残したこと、伝えたかったメッセージとは一体なんだったのでしょうか……。

死後の世界を描いたファンタジー小説。生きていくうえで忘れてはならない大切なことを教えてくれるのが魅力です。爽やかな読後感を楽しみたい方はチェックしてみてください。



『3倍速ドッペルゲンガー』

久米 絵美里 著 森川 泉 絵 出版社 アリス館

昨年朝日中高生新聞で連載された作品です。

特別なスマホアプリで自分をスキャンするとつくられたパラレルワールドに自分のドッペルゲンガー（コピー）ができ、3倍速再生することで、少し先の予測未来を見ることができるといふ近未来設定の話です。

スマホが手放せないのと同じぐらいドッペル再生することが当たり前になっている高校生たち。しかし、ドッペル再生をしない「ドッ禁」で生きることを選んだ者が現れ、仲間を引き込んでいきます。

『3倍速ドッペルゲンガー』は、人間にとって必要なのか。使う生き方と使わない生き方、あなたはどちら？

おすすめの図書



『子どもが変わる！ 心理的安全性のある学級のすごい仕組み』

天野翔太 著 樋口万太郎 監修 出版社 学陽書房

「心理的安全性」のあるクラスづくりがわかる！全員が主役になれる！言葉かけや各教科の授業実践、ICT 活用まで、具体的な「仕組み」が満載！「心理的安全性」の考え方を取り入れて、学級経営や授業がうまくいくコツを解説しています。

「毎日起簡易 1on1」、シンキングツール、単元内自由進度学習、生成 AI 活用法など、心理的安全性を高める仕組みや学びがいっぱいです。

- 第1章 学力・学級力が上がる！ 心理的安全性のある学級
- 第2章 子どもが主体的になれる！ 学級づくりの仕組み
- 第3章 心理的安全性で育む！ 温かい学級づくり
- 第4章 みんなが安心できる！ 心理的安全性の言葉かけ
- 第5章 学びの密度が上がる！ 心理的安全性のある授業
- 第6章 子どもたちが身乗り出す！

GIGA スクール構想×心理的安全性



『授業・校務がより速くクリエイティブに！ さる先生の実践 Canva』

坂本 良品 編著 出版社 学陽書房

授業から学級経営、校務の効率化まで！Canva のあらゆる活用法がこの1冊でわかる！いままで大変だった仕事がすべてラクになって驚くほどスピーディーに！さらにクリエイティブなものに変わる！

「もっと早く配布物を作成したい」「もっとかわいい掲示物をつくりたい」「子どものクリエイティブなアイデアをもっと引き出したい！」そんな先生にぴったりの1冊です！

多くの現場の先生の実践事例を集めた1冊！様々な先生たちの便利な使い方、子どもがやる気になる授業実践など、よりすぐりが満載！

- 第1章 Canva で教師の仕事がサクサク進む！
- 第2章 Canva の基本的な使い方がわかる！
- 第3章 Canva なら、学級経営に必要なものを何でも作れる！
- 第4章 Canva を使うと授業はこんなに活性化する！
- 第5章 Canva が校務をこんなにラクにしてくれる！



『今すぐできる学校の防災管理 少しの工夫でこんなに改善！』

廣内 大助・佐々木 克敬 編著 出版社 東京法令出版

災害時の時系列的な経過に応じた対策を解説しています。

いきなり完璧を目指すのではなく、少しの工夫、一つひとつの積み重ねで効果を発揮する対策例を、写真やイラストを交えて多数紹介しています。

一般的な学校の対応に加え、特別支援学校に特化した対策を随所に掲載してインクルーシブ教育へのヒントを提供しています。

長年、学校現場で防災指導に携わってきた学識者や、学校管理職として防災管理・防災教育を実践してきた教員による実務書です。管理職、学校安全主任・防災主任必読です！

- 第1編 地震に備える防災管理
- 第2編 地震以外の災害に備える防災管理
- 第3編 防災教育と地域連携